

令和3年度

大里広域市町村圏組合一般会計・
介護保険特別会計歳入歳出決算審査意見書
大里広域市町村圏組合基金運用審査意見書

大里広域市町村圏組合監査委員

目 次

令和3年度大里広域市町村圏組合一般会計・介護保険特別会計歳入 歳出決算審査意見書

第1	審査の対象	1
第2	審査の期日	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	総括	1
(1)	決算規模	1
(2)	財政収支	2
2	一般会計	3
(1)	財政状況	3
(2)	歳入	3
(3)	歳出	4
3	介護保険特別会計	5
(1)	歳入	5
(2)	歳出	6
4	実質収支に関する調書	7
5	財産に関する調書	7
(1)	公有財産	7
(2)	物品	7
(3)	基金	8
第5	審査意見	8

令和3年度大里広域市町村圏組合基金運用審査意見書

第1	審査の対象	10
第2	審査の期日	10
第3	審査の方法	10
第4	審査の結果	10
第5	審査意見	10
第6	基金の運用状況	10
1	大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金	11
2	大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金	11
3	大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金	11



大広監発第23号

令和4年10月17日

大里広城市町村圏組合

管理者 小林哲也様

大里広城市町村圏組合

監査委員 三澤欣一

令和3年度大里広城市町村圏組合一般会計・介護保険特別会計歳入歳出
決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和3年度大里広城市町村圏組合一般会計・介護保険特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を提出します。

第1 審査の対象

令和3年度大里広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算書

令和3年度大里広域市町村圏組合介護保険特別会計歳入歳出決算書

令和3年度大里広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和3年度大里広域市町村圏組合介護保険特別会計歳入歳出決算事項別明細書

令和3年度大里広域市町村圏組合一般会計・介護保険特別会計実質収支に関する調書

令和3年度大里広域市町村圏組合財産に関する調書

第2 審査の期日

令和4年10月4日

第3 審査の方法

決算審査に当たっては、管理者から送付された一般会計及び介護保険特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書について、証票書類、その他関係諸帳簿等により、決算計数の正確性・予算執行の適否等の確認を行い、必要により関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算及び附属書類は、関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿等と符合し、正確であった。

また、予算の執行についても適正に執行されているものと認められた。

1 総括

(1) 決算規模

ア 総計決算額

一般会計及び介護保険特別会計の総計決算額は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
歳 入	36,962,339,986	36,250,123,863	712,216,123
一般会計	4,274,871,682	4,056,808,884	218,062,798
特別会計	32,687,468,304	32,193,314,979	494,153,325
歳 出	36,036,975,081	34,470,700,891	1,566,274,190
一般会計	3,979,742,834	3,788,117,852	191,624,982
特別会計	32,057,232,247	30,682,583,039	1,374,649,208
歳入歳出差引残額	925,364,905	1,779,422,972	△854,058,067

一般会計の決算額を前年度に比較すると、
歳入では前年度の40億5,680万8,884円に対し2億1,806万2,798円(5.38%)、
歳出では前年度の37億8,811万7,852円に対し1億9,162万4,982円(5.06%)
それぞれ増加している。

介護保険特別会計の決算額を前年度に比較すると、
歳入では前年度の321億9,331万4,979円に対し4億9,415万3,325円(1.53%)、
歳出では前年度の306億8,258万3,039円に対し13億7,464万9,208円(4.48%)
それぞれ増加している。

イ 純計決算額

今年度は、各会計相互間の繰入金・繰出金がなかったため、純計決算額は総計決算額と同額となっている。

(単位：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
歳 入	36,962,339,986	36,250,123,863	712,216,123
一般会計	4,274,871,682	4,056,808,884	218,062,798
特別会計	32,687,468,304	32,193,314,979	494,153,325
歳 出	36,036,975,081	34,470,700,891	1,566,274,190
一般会計	3,979,742,834	3,788,117,852	191,624,982
特別会計	32,057,232,247	30,682,583,039	1,374,649,208
歳入歳出差引残額	925,364,905	1,779,422,972	△854,058,067

(2) 財政収支

一般会計及び介護保険特別会計の収支状況は、次のとおりである。

決 算 収 支 (単位：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減
A 歳 入	36,962,339,986	36,250,123,863	712,216,123
B 歳 出	36,036,975,081	34,470,700,891	1,566,274,190
C 差引額 (A-B)	925,364,905	1,779,422,972	△854,058,067
D 翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0
E 実質収支 (C-D)	925,364,905	1,779,422,972	△854,058,067
F 単年度収支 (E-前年度E)	△854,058,067	795,007,820	△1,649,065,887

以上のように、実質収支は9億2,536万4,905円の黒字となったが、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は16億4,906万5,887円の赤字となっている。

2 一般会計

(1) 財政状況

一般会計歳入歳出決算額は、次のとおりである。

決 算 状 況 (単位:円・%)

区 分	予算現額	歳 入	歳 出	差 引 額	予算現額に対する	
					歳入 決算比	歳出 決算比
3年度	4,195,421,000	4,274,871,682	3,979,742,834	295,128,848	101.89	94.86
2年度	4,104,860,000	4,056,808,884	3,788,117,852	268,691,032	98.83	92.28
比較増減	90,561,000	218,062,798	191,624,982	26,437,816	3.06	2.58

差引額については、全額翌年度へ繰り越している。

前年度決算額に比べて歳入では、2億1,806万2,798円(5.38%)、歳出では、1億9,162万4,982円(5.06%)それぞれ増加である。

また、歳出を性質別に分類すると、次のとおりである。

性 質 別 歳 出 の 状 況 (単位:千円・%)

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
義務的経費	357,089	8.97	355,559	9.39	327,946	8.81
人件費	214,053	5.38	212,388	5.61	184,664	4.97
公債費	141,756	3.56	141,986	3.75	142,182	3.82
扶助費	1,280	0.03	1,185	0.03	1,100	0.03
投資的経費	413,875	10.40	371,027	9.79	298,861	8.03
そ の 他	3,208,779	80.63	3,061,532	80.82	3,097,018	83.17
歳 出 合 計	3,979,743	100.00	3,788,118	100.00	3,723,825	100.00

各焼却施設の老朽化に伴う大規模修繕経費が増加したことにより、投資的経費が増加している。

(2) 歳 入

一般会計歳入予算執行状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	執行率
3年度	4,195,421,000	4,274,871,682	4,274,871,682	0	0	101.89
2年度	4,104,860,000	4,056,808,884	4,056,808,884	0	0	98.83
比較増減	90,561,000	218,062,798	218,062,798	0	0	3.06

予算現額に対する収入済額の割合は101.89%(前年度98.83)である。

収入済額の構成比について款別にみると、構成比率の高いものは、分担金及び負

担金 75.41%、使用料及び手数料 13.80%、繰越金 6.28%、諸収入 4.49%の順である。款別歳入状況は次のとおりである。

歳 入

(単位：円・%)

款	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	執行率	構成比率
1 分担金及び負担金	3,223,648,000	3,223,648,000	0	100.00	75.41
2 使用料及び手数料	629,400,000	589,806,470	△39,593,530	93.71	13.80
3 財産収入	726,000	724,858	△1,142	99.84	0.02
4 繰越金	268,692,000	268,691,032	△968	100.00	6.28
5 諸収入	72,955,000	192,001,322	119,046,322	263.18	4.49
歳入合計	4,195,421,000	4,274,871,682	79,450,682	101.89	100.00

予算現額と比較して、使用料及び手数料が 3,959 万 3,530 円減少した主な理由は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により当初の見込みよりも事業系ごみの搬入量が減少したためである。

また、諸収入が 1 億 1,904 万 6,322 円増加している主な理由は、昨年度よりも鉄類・非鉄金属類の売却単価が上昇したためである。

(3) 歳 出

一般会計歳出予算執行状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3年度	4,195,421,000	3,979,742,834	0	215,678,166	94.86
2年度	4,104,860,000	3,788,117,852	0	316,742,148	92.28
比較増減	90,561,000	191,624,982	0	△101,063,982	2.58

予算現額に対する支出済額の割合は 94.86% (前年度 92.28) である。

支出済額の構成比について款別にみると構成比率の高いものは、衛生費 94.64%、公債費 3.56%、総務費 1.77%、議会費 0.03%の順である。

款別歳出状況は次のとおりである。

歳 出

(単位:円・%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	構成比率
1 議会費	2,212,000	1,307,823	0	904,177	59.12	0.03
2 総務費	77,540,000	70,330,496	0	7,209,504	90.70	1.77
3 衛生費	3,963,912,000	3,766,348,466	0	197,563,534	95.02	94.64
4 公債費	141,757,000	141,756,049	0	951	100.00	3.56
5 予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.00	0.00
歳出合計	4,195,421,000	3,979,742,834	0	215,678,166	94.86	100.00

不用額2億1,567万8,166円の主なものとして、衛生費の次期処理施設建設準備事業の委託料5,701万6,072円は、公募型プロポーザル方式により発注した業務の請負残及び減額の変更契約をしたこと、また、大里広域クリーンセンター費の委託料5,602万6,292円は、不燃ごみ搬入量の減少を受け、処理残渣等が減少したことによる。

3 介護保険特別会計

介護保険特別会計歳入歳出決算額は、次のとおりである。

決 算 状 況

(単位:円・%)

区 分	予算現額	歳 入	歳 出	差 引 額	予算現額に対する	
					歳入決算比	歳出決算比
3年度	33,002,759,000	32,687,468,304	32,057,232,247	630,236,057	99.04	97.14
2年度	32,197,279,000	32,193,314,979	30,682,583,039	1,510,731,940	99.99	95.30
比較増減	805,480,000	494,153,325	1,374,649,208	△880,495,883	△0.95	1.84

差引額については、全額翌年度へ繰り越している。

前年度決算額に比べて歳入では、4億9,415万3,325円(1.53%)、歳出では、13億7,464万9,208円(4.48%)それぞれ増加である。

(1) 歳 入

決算額は、予算現額330億275万9,000円に対して調定額329億170万5,650円、収入済額326億8,746万8,304円、不納欠損額7,484万1,020円、収入未済額1億3,939万6,326円である。

収入済額の主なものは、保険料74億2,182万7,428円(構成比率22.71%)、分担金及び負担金48億4,965万8,119円(構成比率14.84%)、国庫支出金63億8,212万5,470円(構成比率19.52%)、支払基金交付金79億7,121万4,000円(構成比率24.39%)、県支出金44億4,310万7,409円(構成比率13.59%)、繰入金8,506万7,000円(構成比率0.26%)、繰越金15億1,073万1,940円(構成比率4.62%)である。

款別歳入状況は次のとおりである。

歳 入

(単位：円・%)

款	予算現額	収入済額	予算現額に 対する増減	執行率	構成 比率
1 保険料	7,512,323,000	7,421,827,428	△90,495,572	98.80	22.71
2 分担金及び負担金	4,849,660,000	4,849,658,119	△1,881	100.00	14.84
3 国庫支出金	6,401,050,000	6,382,125,470	△18,924,530	99.70	19.52
4 支払基金交付金	8,200,057,000	7,971,214,000	△228,843,000	97.21	24.39
5 県支出金	4,443,105,000	4,443,107,409	2,409	100.00	13.59
6 財産収入	1,000	0	△1,000	0	0.00
7 繰入金	85,067,000	85,067,000	0	100.00	0.26
8 繰越金	1,510,731,000	1,510,731,940	940	100.00	4.62
9 諸収入	765,000	23,736,938	22,971,938	3102.87	0.07
歳 入 合 計	33,002,759,000	32,687,468,304	△315,290,696	99.04	100.00

予算現額と比較して、保険料が9,049万5,572円減少しているのは、見込み収納率よりも実際の収納率が低かったためである。

(2) 歳 出

決算額は、予算現額330億275万9,000円に対して、支出済額320億5,723万2,247円で差引9億4,552万6,753円の不用額を生じている。

支出済額は、総務費5億333万8,434円(構成比率1.57%)、保険給付費288億1,232万8,270円(構成比率89.88%)、地域支援事業費11億683万8,403円(構成比率3.45%)、基金積立金8億7,818万7,832円(構成比率2.74%)、諸支出金7億5,653万9,308円(構成比率2.36%)である。

款別歳入状況は次のとおりである。

歳 出

(単位：円・%)

款	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	構成 比率
1 総務費	562,490,000	503,338,434	0	59,151,566	89.48	1.57
2 保険給付費	29,521,844,000	28,812,328,270	0	709,515,730	97.60	89.88
3 地域支援事業費	1,277,620,000	1,106,838,403	0	170,781,597	86.63	3.45
4 基金積立金	878,189,000	878,187,832	0	1,168	100.00	2.74
5 諸支出金	757,616,000	756,539,308	0	1,076,692	99.86	2.36
6 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.00	0.00
歳 出 合 計	33,002,759,000	32,057,232,247	0	945,526,753	97.14	100.00

不用額9億4,552万6,753円の主なものは、保険給付費7億951万5,730円で、介護保険事業計画に基づき、最大利用金額を見込んでいたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりサービスの利用が抑制されたためである。

4 実質収支に関する調書

地方自治法第233条第1項の規定に基づき、同法施行令第166条第2項により提出された本調書は、決算書と突合の結果、正確であることを確認した。

(単位：千円)

区分 会計別	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り越すべき財源				実質 収支額	実質収支額の うち地方自治 法第233条の 2の規定によ る基金繰入額
				継 続 費 通 次 繰 越 額	繰 越 明 許 費 繰 越 額	事 故 繰 越 し 繰 越 額	計		
一般会計	4,274,872	3,979,743	295,129	0	0	0	0	295,129	0
介護保険特別会計	32,687,468	32,057,232	630,236	0	0	0	0	630,236	0

5 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地

区分	2年度末現在高 (㎡)	3年度中増減高 (㎡)	3年度末現在高 (㎡)
行政財産	13,153.98	0	13,153.98
普通財産	0	0	0
合計	13,153.98	0	13,153.98

本年度中における増減はなく、年度末現在高は、13,153.98㎡である。・。

イ 建物

区分	2年度末現在高 (㎡)	3年度中増減高 (㎡)	3年度末現在高 (㎡)
行政財産	22,590.60	0	22,590.60
普通財産	0	0	0
合計	22,590.60	0	22,590.60

本年度中における増減はなく、年度末現在高は、22,590.60㎡である。

(2) 物品

本年度中における増減はなく、年度末現在高は43件である。

なお、この物品は1件につき取得価格50万円以上のものである。

(3) 基金

基金については、「不燃物処理施設建設基金」、「ごみ処理施設整備基金」及び「介護保険給付費準備基金」の3基金があり、年度末現在高は、28億1,285万6,542円である。

第5 審査意見

本年度における一般会計の決算状況は、歳入42億7,487万1,682円、歳出39億7,974万2,834円、差引2億9,512万8,848円となり、介護保険特別会計では、歳入326億8,746万8,304円、歳出320億5,723万2,247円、差引6億3,023万6,057円となった。

一般会計の歳入合計を前年度と比較すると、2億1,806万2,798円の増加で、歳出合計では、1億9,162万4,982円の増加である。

介護保険特別会計の歳入合計を前年度と比較すると4億9,415万3,325円の増加で、歳出合計では、13億7,464万9,208円の増加である。

可燃ごみ処理については、消耗部品等の耐用年数を考慮した補修を実施し、今後も安定した施設の管理運営を望むものである。また、焼却施設周辺住民の生活環境にも配慮されるとともに、施設の従事者やごみ搬入者に対しての事故防止については、万全な安全対策を徹底されたい。

不燃ごみ処理については、引き続き、構成市町との緊密な連携のもと、分別の徹底による減量化と再資源化に努め、有価物回収率の更なる向上を図られたい。

ごみ処理施設の老朽化対策は、地域の環境・衛生問題に直結し、住民の快適な住環境を確保する意味で、極めて重要な事業であり、処理施設の機能が停止する事態は絶対に避けなければならない大きな使命と責任を負っている。そのため、本年2月に策定されたごみ処理施設整備基本構想を踏まえ、当面既存の4施設の運営に万全を期すとともに、安全・安心かつ安定的に処理が可能な新施設の整備に向けて、地域住民の理解を得ながら着実に事務事業を執行されたい。

契約関係では、随意契約が多くみられるが、公平性、透明性の確保の観点から、令和2年11月26日制定の「ごみ処理施設における随意契約ガイドライン」の適切な運用を引き続き図られたい。

介護保険については、第8期介護保険事業計画の初年度となったが、住民にとって介護保険制度が身近でより使いやすいものとなるよう構成市町と十分な協議、連携を図ることにより、引き続き適正かつ効率的な制度運営に努められたい。

介護保険の認定事務については、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、高齢化の進展に伴う申請件数の増加や介護サービスの多様化等による業務量の増加という状況下で審査期間が年々長期化する傾向にあるが、業務の外部委託化の推進等による

処理の迅速性を確保するなど、引き続き被保険者に対する公平・公正な審査の実施に努められたい。

また、介護保険料の収納率は、特別徴収割合の増加及びコンビニ納付やスマホ決裁アプリサービスの実施により前年度より0.5%増加した。引き続き、口座振替制度の普及拡大を重点に、外部委託による電話催告業務の効果的な運営を図りつつ、コンビニ納付等の新たな納付手段の拡充に努めていただきたい。

なお、介護保険料の消滅時効は2年と短期間であり、かつ強制徴収公債権であることから、負担の公平を念頭に、引き続き、財産調査・差押え・換価という一連の滞納処分手続を進めていただきたい。特に所得段階が第8段階から第10段階の高所得層の滞納者に対しては、生活実態を把握の上優先して滞納整理の促進を図られたい。

一般会計、介護保険特別会計とも適切に支出が行われていると認められるが、新型コロナウイルス感染症の拡大、ウクライナ紛争の影響による資源高、消費者物価の高騰、更には長引く円安問題など経済社会を取り巻く環境は先行き不透明感があり、厳しい財政事情が予想されるところである。そのため、事業の実施に当たっては、職員一人ひとりが住民の福祉向上を念頭に費用対効果の視点を常にもち、事業の効率的、合理的な執行を望むものである。



大広監発第24号

令和4年10月17日

大里広域市町村圏組合

管理者 小林哲也様

大里広域市町村圏組合

監査委員 三澤欣一

令和3年度大里広域市町村圏組合基金運用審査意見について

地方自治法第241条第5項の規定により審査に付された基金の運用状況を示す書類を審査した結果、次のとおり意見を提出します。

第1 審査の対象

令和3年度大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金
令和3年度大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金
令和3年度大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金

第2 審査の期日

令和4年10月4日

第3 審査の方法

審査に当たっては、基金の運用状況を示す書類について、関係諸帳簿等により確認を行い、必要により関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された基金の運用状況を示す書類の計数は正確であり、適正に執行されているものと認められた。

第5 審査意見

基金は、それぞれの設置目的に即して運用している。その保管現金については、定期預金等により運用している。

基金の保管・運用については、今後とも各基金の設置目的等に即して適切に又最も確実かつ有利な方法により行うとともに、各基金の現在高と容易に照合できるよう区分して預入するよう望むものである。

第6 基金の運用状況

<総括表>

(単位：円)

基金別	区分	2年度末現在高	3年度中増減高	3年度末現在高
1 大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金	現金	53,400,756	2	53,400,758
2 大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金	現金	833,863,097	217,415,888	1,051,278,985
3 大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金	現金	915,055,967	793,120,832	1,708,176,799
合計		1,802,319,820	1,010,536,722	2,812,856,542

1 大里広域市町村圏組合不燃物処理施設建設基金

(単位：円)

区 分	2年度末現在高	3年度中増減高	3年度末現在高
現 金	53,400,756	2	53,400,758
計	53,400,756	2	53,400,758

3年度中の増減は、普通預金利子分2円を積み立てたことにより、2円増加した。

2 大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基金

(単位：円)

区 分	2年度末現在高	3年度中増減高	3年度末現在高
現 金	833,863,097	217,415,888	1,051,278,985
計	833,863,097	217,415,888	1,051,278,985

3年度中の増減は、2年度繰越金分213,691,032円、ごみ処理手数料分3,000,000円、定期預金利子分724,856円を積み立てたことにより、217,415,888円増加した。

3 大里広域市町村圏組合介護保険給付費準備基金

(単位：円)

区 分	2年度末現在高	3年度中増減高	3年度末現在高
現 金	915,055,967	793,120,832	1,708,176,799
計	915,055,967	793,120,832	1,708,176,799

3年度中の増減は、2年度繰越金分878,187,832円を積み立てたことに対して、85,067,000円を取り崩したことにより、793,120,832円増加した。